



医学専門学群
看護・医療科学類

School of Nursing
and Medical Technology



2003

<http://www.snmt.tsukuba.ac.jp/>

目次

医学専門学群.....	1
看護・医療科学類.....	2
看護学主専攻.....	4
医療科学主専攻.....	6
キャンパスライフ.....	8
取得資格と卒業後の進路.....	10
医学系の研究体制.....	11
看護学分野の研究.....	12
医療科学分野の研究.....	13
FAQ.....	14
入学試験案内.....	16
キャンパス・マップ.....	17

School of Nursing
and Medical Technology
2003



「病人を看護することはひとつのアートである。
しかも、系統的で実地に即した科学的な訓練を必要とするアートである」
(現代社刊 ナイチンゲール著作集 第2巻より)

医学専門学群

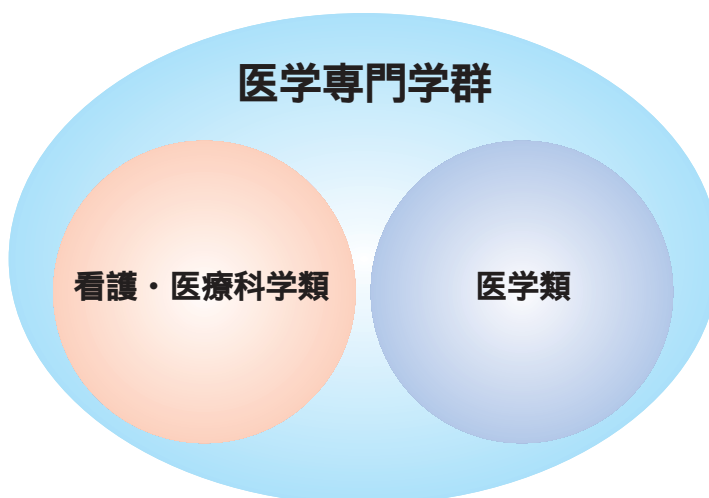


学群は筑波大学の教育組織の基本であり、学生が幅広い分野の教師と相互に接触することで、専門分野にとどまらない広い視野を養う、教育本位に編成された組織です。更に、いくつかの学群には、教育に全面的な責任を持つ、複数の学類が設置されています。

医学専門学群は、わが国の医療界の先駆的役割を担う人材を養成し、社会へ貢献をするために、1973年に医学専門教育の場として創設されました。

2002年10月、医療技術短期大学の改組にともない、医学専門学群に看護・医療科学類と医学類の2学類が設置されます。

看護・医療科学類は4年間、医学類は6年間、一般教育から専門分野まで幅広い学問分野にわたって一貫教育を受けます。



看護・医療科学類

教育理念

近年の急激な社会環境の変化に伴い、看護や医療に求められる「質」が急速に変化しています。一方、看護を必要とする人たちが求める質の高い要請に対応できる看護師の数はまだまだ不足しています。また、臨床検査技術学の分野は、検査法の自動化と先進化にともない、これまでの検査室の検査にとどまらず、医師や看護師との強い連携のもとで臨床に密着した業務を遂行することが重要になってきています。



附属病院



構内（ゆりの木通り）

本学類では、このような看護や医療に対する社会の要請に即応するために、広い教養と深い人間理解を基盤とし、大学病院のみならず地域の医療・福祉に従事している方々とも連携した教育をします。人々のニーズに合った質の高い看護や医療技術を提供し、それぞれの専門性を生かして、保健、医療、福祉チームの一員として協働できる保健医療専門職を養成します。又、教育者、研究者、管理者としてそれぞれの専門分野で指導的役割を担い、社会に貢献できる人材を育成します。



学舎



入学式



卒業式



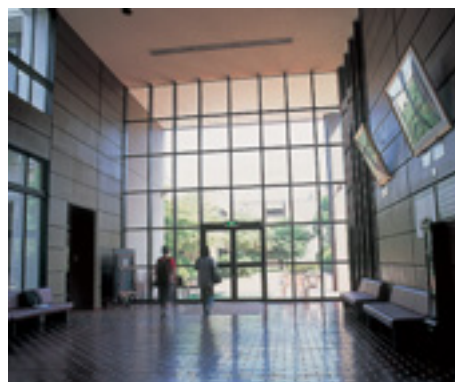
教育目標

4年間を通して一般的な科目（基礎科目） 専門的な教育科目（専門基礎科目、専門科目）が以下の教育目標を基盤として構成されています。筑波大学の特徴のひとつとして他の主専攻分野、他学類あるいは他学群の授業を受けることができます。

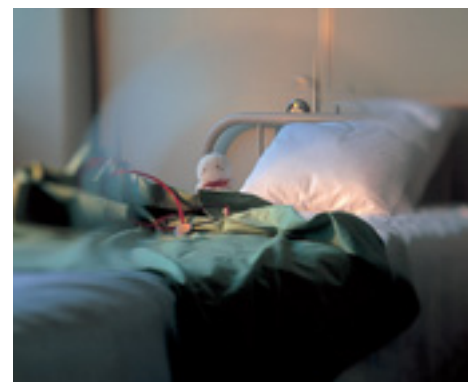


天久保池

1. 基本的人権、公正な判断、及び高い倫理性に基づいて行動できる能力と様々な人間の状況や感情を受容し共感できる豊かな人間性を養います。
2. 高度の専門知識と技能を身につけると共に、適切な判断に基づく主体的な展開能力と将来を先見した専門能力を養います。
3. 医療・福祉などの他領域と連携し、人々の健康生活を援助し高いQOL(Quality of Life)実現に貢献できる能力を養います。
4. 研究・開発に必要な創造力と学力を養うと共に、生涯にわたり自己学習を継続できる能力を養います。
5. 国際性を志向し、積極的に国際医療活動に対応できる能力を養います。



玄関ホール



看護実習室

看護学主専攻

看護学とは

看護学とは人が生まれてから死を迎えるまでに直面する健康のあらゆるレベルの問題を人々が解決しようとするプロセスを支援する学問です。つまり看護は、病気や障害の治療過程に関わるだけでなく、身体的、精神的、社会・文化的に健康でその人らしい生活が営めるよう家族も含めて、病気の予防・健康の維持・増進に働きかけます。そのためには、対象のからだの構造・機能や疾病ばかりではなく、人々の生活環境や社会・文化的背景、心理が人間の発達を通してどのように変化していくのかなど、人間理解を深めるための科目を学びます。さらに看護の専門技術を提供するためのさまざまな演習や実習を有機的に取り入れながら科学的な理論を基盤とした看護学が包括的に修得できるように科目が設定されています。



英会話授業



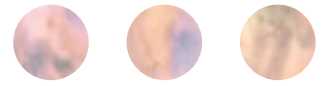
看護技術の実習



健康スポーツ実習



看護実習風景



学ぶことは

看護学のカリキュラムは「人間」、「健康」、「環境」、「看護」の4つの柱によって構成されています。

看護学主専攻では「人間」の生の営みにおける看護の役割を理解しやすいように「環境」を「生活」という概念で捉え直し、看護学の主体性を明確にしつつ、視野の拡大と専門性を深めるために医学、心理学、社会学などとの連携を図ったカリキュラムで学びます。専門基礎科目では「こころと行動の科学」「人間と生命科学」「生活支援科学」を3本柱として、人間の多様性と幅広い価値観などについて学びます。

専門科目は「生活援助基礎科学」「看護実践科学」「応用看護学」から構成され、選択として助産師、養護教諭に関する科目を開設します。「生活援助基礎科学」では看護の基本となる基礎技術を実習により修得するとともに生活援助、看護援助、ターミナルケアなどの理論を、「看護実践科学」では地域看護学、成人看護学、精神看護学、高齢者看護学、母性看護学、小児看護学などの理論と実践技術を修得し、「応用看護学」では、看護研究、国際看護、看護政策などを学修します。さらにケア・コロキウムでは医学類や他学類において医療・福祉に関連した科目を学ぶ学生とともにチーム医療を学びます。



学内実習風景

看護学主専攻授業科目抜粋

	1年次	2年次	3・4年次	
専門的な科目	看護学概論	基本看護技術	専門看護技術	臨地実習
	看護援助論	看護管理論	ターミナルケア	総合実習
	看護の法と倫理	家族看護論	在宅看護論	ケア・コロキウム
	生活援助論演習	成人看護学概論	健康教育	研究方法概論
	地域看護学概論	健康障害看護学	精神看護方法論	看護管理方法論
	看護ふれあい実習	精神看護学概論	高齢者看護方法	
	人体の機能と構造	高齢者看護学概論	周産期看護方法論	
	人体の代謝と栄養	老化と健康	小児看護演習	
	病態学	母性看護学概論		
	感染と免疫	小児看護学概論		
	人間環境論	子どもの健康と障害		
	保健統計学	臨床薬理学		
	カウンセリング論	疫学		
	人間関係論	保健福祉行政論		

一般的な科目	体育
	総合科目
	フレッシュマンセミナー
	国語
	第1外国語
	第2外国語
	情報処理

医療科学主専攻

医療科学とは

医療科学とは、心電図、脳波などの生理的検査や、血液、尿、組織などの病理、化学、生化学検査をする技術を習得してチーム医療に参加し、疾病の診断や治療に必要な臨床研究や基礎研究を支援すると共に検査技術の新たなる展開を目的とする学問です。さらに、ライフサイエンスの分野で広く活躍できる医療専門職となり、社会に貢献することを目指します。



血液自動分析



検体処理風景



生化学的検査実習



学ぶことは

専門基礎科目では人体の構造と機能、疾病の成り立ち、保健医療福祉、医学検査総論、医用工学などを履修し、医学検査に必要な基礎と技術を学びます。

専門科目では臨床病態学、生物化学分析、病因・生体防御検査、生理機能検査などを履修し、臨床検査に必須の理論と実際を学びます。又、分子病態学、環境病態学、病態医用工学などの最先端学問を学び、将来の専門分野の選択肢を広げるとともに、医師や看護師と一体になったチーム医療を体験します。4年次には医療科学の最先端を体験する卒業研究に従事し、医療科学研究に参画できる資質を獲得します。

医療科学主専攻授業科目抜粋

	1年次	2年次	3・4年次	
専門的な科目	人体構造学	分子生物学	生命倫理学	バイオテクノロジー総論
	人体機能学	基礎医学総論	救急医学	細胞発生工学
	生化学	臨床心理学	医療法制	遺伝医学
	微生物学	医療情報科学	計量生物学	遺伝子・染色体検査学
	保健衛生論	医用工学	医療経済学	人工臓器学
	医学検査学	臨床病態学	疫学	バイオエレクトロニクス
		病態検査学	生化学成分検査学	環境人間学
		病理組織学	凝固・線溶学	臨床実習
		血液検査学	遺伝子工学	ケア・コロキウム
		病原微生物学	RI検査技術学	卒業研究
		ウイルス学	免疫検査学	
		生理機能検査学	輸血学	
			国際感染症	
			画像検査学	

一般的な科目	体育	
	総合科目	
	フレッシュマンセミナー	
	国語	
	第1外国語	
	第2外国語	
	化学	
	物理学	
	生物学	
	情報処理	



講義風景



実習風景

キャンパ

イベント

筑波大学では、年間を通じて各種イベントが開催されています。

4月 新入生歓迎祭

筑波大学に1日も早く慣れてもらうよう、サークルを中心にさまざまな催しものが繰り広げられます。

5月・10月 スポーツ・デー

6月 宿舍祭(やどかり祭)

学生宿舎入居学生を中心に、地域の伝統芸能などが披露されます。

10月 学園祭(雙峰祭)

学園祭は筑波山にちなみ雙峰祭と名付けられています。

サークル活動

趣味を活かし、たくさんの友人を得ることは、充実した学生生活を送る上で大切なことです。筑波大学には、文科系、体育系、芸術系の約200のサークル団体があります。

学生宿舎

学生宿舎は、筑波大学構内の北地区と南地区にあり、新入生は、優先的に個室に入居できるように配慮されています。広さは約9m²(6畳)で、居室には、机、椅子、ベッド(寝具一式付)、電話が備え付けられています。また、各居住棟ごとに共同の簡単な料理が作れる捕食室、洗濯室、トイレがあります。これとは別に共用棟があり、ここには管理事務室、食堂、浴場、売店、理容室、美容室、喫茶室、娯楽室などが備わっています。1か月の使用料(平成14年度)は、11,840円(寄宿料4,700円、共益費7,140円)でこの外に電気料、食費、入浴料等が必要です。

アパート等

本学周辺地域には、相当数のアパート等があります。家賃等については、地域、建築年数や付属設備の有無により差がありますが、平均的な家賃は、アパート(6畳、台所、バス、トイレ付)で月額約35,000円~50,000円位です。敷金及び礼金は、それぞれ家賃の1~2か月相当分です。

授業料免除・奨学金・アルバイト

授業料免除.....経済的理由等で納入が困難で、かつ学業成績が優秀な場合に免除される制度です。

奨学金.....日本育英会奨学金、地方公共団体、各種法人等が募集する奨学金制度があります。

アルバイト.....家庭教師、語学教師、塾講師、一般等のアルバイトを紹介しています。



新入生歓迎祭



スポーツ・デー



宿舍祭(やどかり祭)



学園祭

スライフ



サークル活動
(医学ハンドボール部)



学生宿舎



スポーツ・デー



宿舎祭(やどかり祭)



学園祭

学年暦(平成14年度)

4月	学年開始	4月1日
	春季休業	4月1日~4月7日
	入学式	4月8日
	新入生オリエンテーション	4月8日~4月10日
	第1学期授業開始	4月11日
5月	春季スポーツ・デー	5月18日~5月19日
6月	第1学期授業終了	6月24日
	第1学期期末試験	6月25日~7月2日
7月	夏季休業	7月3日~8月31日
9月	第2学期授業開始	9月2日
10月	開学記念日	10月1日
	学園祭	10月12日~10月14日
	秋季スポーツ・デー	10月26日~10月27日
11月	第2学期授業終了	11月18日
	第2学期期末試験	11月19日~11月25日
	秋季休業	11月26日~11月30日
12月	第3学期授業開始	12月2日
	冬季休業	12月26日~1月7日
2月	第3学期授業終了	2月28日
	第3学期期末試験	3月3日~3月7日
3月	春季休業	3月8日~3月31日
	卒業式	3月25日
	学年終了	3月31日

取得資格と卒業後の進路



看護学専攻の学生は、卒業時に学士(看護学)の称号と看護師および保健師国家試験受験資格が得られ、看護・保健の専門職に就く道が開かれています。更に、選択科目を履修することで、助産師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状取得資格をも取得することができます。

卒業生は看護師として筑波大学附属病院をはじめ全国各地の医療機関・福祉施設において、看護師や保健師として、また取得資格に応じて助産師、養護教諭として社会に貢献することができます。

さらに、大学院ではより深い看護学の修得や研究をすすめ、将来研究者や教育者を目指すこともできます。



病棟ナースステーション

医療科学専攻の学生は、卒業時に学士(医療科学)の称号と臨床検査技師国家試験受験資格が得られ、臨床検査技師としての専門職に就く道が開かれています。更に、衛生検査技師免許申請資格を取得することができます。

卒業生は病院をはじめ、検査センターなどにおいて第一線の臨床検査技師として活躍することができます。また、製薬、食品、化学関連の企業や研究所の開発や研究部門で多に腕を振るうことができます。

大学院に進み、より深い医療科学の修得や研究を進め、将来研究者や教育者を旨す道も用意されます。



附属病院中央検査部

医学系の研究体制



研究活動は教育と並ぶ大学の重要な柱です。

看護・医療科学類の担当教官の多くは下記の医学3学系（基礎医学系・臨床医学系・社会医学系）に所属して研究活動を行っています。附属病院をはじめとする学内の関連施設での研究も盛んです。

また、研究学園都市“つくば”には学外にも様々な産官の研究施設があり、活発な研究交流が行われています。

研究組織

社会医学系

看護学 環境医学
環境保健学 社会健康医学
疫学・医療情報学 福祉医療学
医学社会学 精神衛生学
法医学

臨床医学系

循環器内科学 呼吸器内科学
呼吸器・循環器外科学 消化器内科学
消化器外科学 腎臓内科学 泌尿器外科学
内分泌・代謝内科学 血液内科学
膠原病・リウマチ・アレルギー内科学
内科学（感染症） 神経内科学 脳神経外科学
精神医学 小児内科学 小児外科学
形成・乳腺甲状腺内分泌外科学
婦人周産期学 整形外科学 皮膚科学
眼科学 耳鼻咽喉科学 歯科・口腔外科学
放射線医学 麻酔学 臨床病理学
臨床薬剤学 病院診療研究グループ
医療情報学 医療管理学

基礎医学系

解剖学 発生学 統合生理学
神経生理学 システム生理学 微生物学
ウイルス学 国際協力学 分子腫瘍学
生理化学 薬理学 遺伝医学 医工学
実験動物学 腫瘍病理学 実験病理学
陽子線医科学 分子神経生物学
分子発生生物学

主な学内関連施設

筑波大学附属病院 / 保健管理センター / 医学図書館 /
陽子線医学利用研究センター / 遺伝子実験センター /
アイソトープセンター / 分析センター / 学術情報処理
センター / 生命科学動物資源センター



医学系棟

看護学分野の研究



看護の専門技術には諸先輩達が経験的に培ってきたものが多数あります。これらの技術が人間のからだや心にどのような反応をもたらすのかを実験的に検証したり、さらに、患者・看護師双方にとってよりよい方法や技術の確立に向けて研究しています。高齢化社会、医療の高度化、国際化社会がすすむ今日、看護学における研究テーマは多岐にわたっており、研究結果が臨床で応用され、人々の健康維持・増進のためにいかされています。

生活支援（看護）技術の開発と評価

高齢でも病気や事故で障害が残っても、住みなれた街で、我が家で暮らしたいと願う人々のために、急性期のベッドサイドから在宅介護までの生活を支援する看護技術の開発を行っています。また、新しい技術が看護・介護を受ける人の自立を



グローブスキャンシステム
(センサーシートを装着したところ)



患者さんの身体の向きを変える時にかかる力を、筋電図と同時に測定している

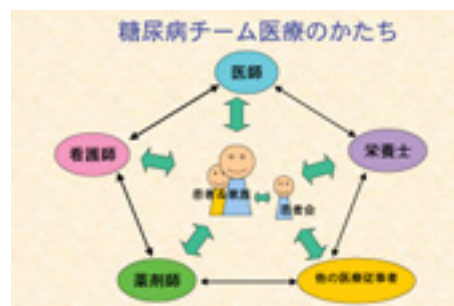
促し、支援する人の身体負担が少ないものであるかを評価するために、筋電計、体幹角度計、運動解析装置、グローブスキャン装置などを用いた実験研究も行っています。

抱擁刺激と新生児の反応との関係

泣いている赤ちゃんをなだめる、またはぐずる赤ちゃんを眠らせるにはどうしたらよいのでしょうか。赤ちゃんは抱き方によって反応が違うのでしょうか。赤ちゃんの心拍、呼吸、体表面温度、敏活性、運動性などを測定、観察することによって日常の看護や育児を科学的に問い直しています。



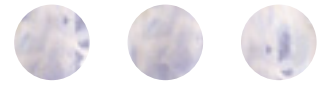
赤ちゃんをたてに抱いているところ
泣きやんで眠りにはいる



糖尿病患者の心理と行動に基づいた支援方法の開発

糖尿病の治療には患者さんの主体性が重要でチーム医療による支援が求められます。特に看護師には患者さんの生活を支援する役割があり、患者さんの心理や行動の分析結果に基づいた援助技術や支援システムを開発しています。

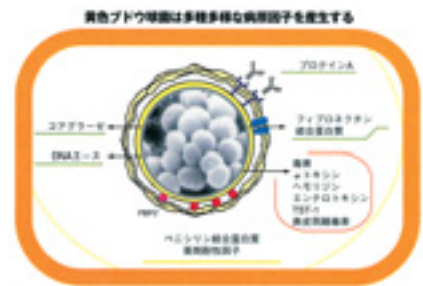
医療科学分野の研究



医療科学専攻担当の教官はおもに基礎医学系および臨床医学系に所属して研究を行います。分子生物学、生化学、微生物学、病理学、血液学、臨床生理学、臨床検査学などの研究を行っています。

MRSAのゲノム解読に挑む

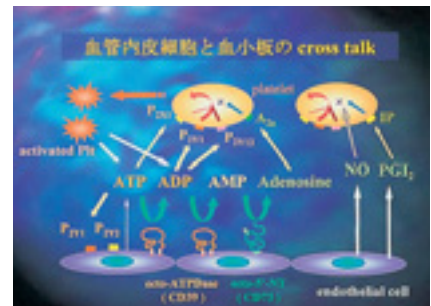
黄色ブドウ球菌は、ヒトの鼻腔に寄生していますが、抗生物質に抵抗性（薬剤耐性）を獲得しやすいことを特徴としています。この抗生物質耐性は、院内感染起因菌（MRSA）として知られ、その対策が急がれています。耐性獲得の謎を解くため、MRSA全ゲノムの解読の結果をみると、MRSAゲノムには、栄養分を選択的に取り入れる膜透過や膜輸送の遺伝子が散りばめられていて、ヒトの粘膜や組織の付着に關与する遺伝子群や各種の毒素遺伝子群がそれぞれに集まって「病原遺伝子アイランド」として散在していました。また、薬剤耐性遺伝子は「カセット」となって染色体や染色体外遺伝子の「アダプター」に挿入され、細菌の間を飛び交っていることが解りました。これらの動く遺伝子がどのように病原性として発現するのかを明らかにしようと研究に取り組んでいます。



(MRSAシエーマ)

造血障害の病態解明と治療法の開発

白血病と並んで難病とされる血液疾患に再生不良性貧血やその類縁疾患があります。こういった造血障害の病態の解明と造血障害の治療法の開発に取り組んでいます。特に、赤血球が補体系の活性化によって溶血する疾患の病態解析成果を上げており、さらに溶血を阻止する治療法の研究が行われています。また、血管の中で血液が凝固する血栓症に關する研究も行われています。



血栓症

精子の側から哺乳動物の生殖システムを理解する

哺乳動物における精子形成から受精に至るまでの過程は、精子と体細胞や卵との直接、間接の細胞間相互作用なくしては成立しません。その意味で、精子分化の過程は、細胞間相互作用、細胞間情報伝達機構を解析する為のモデル系の一つであると言えます。こういった考えに基づいて、精子の機能的分化の分子機構の解明を目指した研究がおこなわれています。

FAQ FAQ FAQ FAQ FAQ

共通

Q1 他学群・他学類の授業は受講できますか？

時間的に可能な限り、受講できます。ただし、受講を可とする学群、学類や学年を定めている科目もあります。なお、医学類以外の学類や学群とは距離的に1～2km離れていますので、移動に時間を取られる場合がありますので、注意が必要です。

Q2 単位について

毎週1コマ（1コマは1.5時間）の講義科目を1学期間受講し、期末試験に合格しますと1単位修得出来るのが基本ですが、実習、実技、実験や外国語科目は別に定められています。卒業に必要な単位数は看護学主専攻では12.5単位、医療科学主専攻では12.6単位で、4年間に渡って余裕を持って修得出来るようにカリキュラムが作られています。



パソコン実習

看護学主専攻

Q1 国家試験資格はどのようなものが取得できますか？

卒業予定者には全員、「看護師」「保健師」の国家試験受験資格が得られます。

助産師の国家試験受験資格ならびに養護教諭一種は必要な単位をあらかじめ取得した場合となります。

Q2 臨地実習、総合実習とはどのようなものですか？

実習は附属病院だけではなく、学外のような医療・保健に関連した施設にも行くので臨地実習といえます。1年次からはじめて4年次にかけてその質、量ともに充実していきます。4年次では「総合実習」として学生自身の関心や志向に応じた専門領域を選択して実習を行い、知識や技術をさらに深めることができます。



臨地実習

Q3 ケア・コロキウムとは何ですか？

この科目は総合大学である本学の利点を生かした特徴的なものとなっています。つまり、本学類以外の他学類において医療・福祉に関連した科目を学ぶ学生達とともにチーム医療を学ぶことができます。

Q4 看護学主専攻卒業後の就職または大学院の進学について教えてください。

取得予定の国家資格を生かし、病院や保健センター、学校に勤務することができます。

さらに専門性を高めるために大学院へ進学する場合、筑波大学には修士課程の「医科学研究科」や5年一貫性の博士課程「人間総合科学研究科」などで看護を学んだ諸先輩が研究活動を行っています。



ナースステーション

医療科学主専攻

Q1 医療科学主専攻を卒業するとどんな就職先があるのですか？

医療科学主専攻の卒業時には「臨床検査技師」国家試験を受験してこの資格を得ることが期待されます。「臨床検査技師」の資格を生かして病院の検査部門や検査センターに勤務することができます。また、この資格を生かして製薬会社をはじめとした民間企業や地方自治体への就職もあります。医学・バイオ関連の研究所で医療科学関連の知識を生かして実験・研究支援の業務にたずさわること期待されます。



基礎医学実験

Q2 医療科学主専攻卒業後に進学できる筑波大学の大学院を教えてください。

看護・医療科学類「医療科学主専攻」で4年間学んだ後、将来研究者や高度専門的職業人をを目指す学生が専門性を高めるために進学できる大学院が筑波大学にはあります。「医療科学」という専門性から、進学する大学院修士課程は「医科学研究科」や「バイオシステム研究科」が中心になると思われます。また、「医療科学」の専門性を極めるために大学院博士課程へも進学できます。

Q3 実習が多いと聞くのですが学内実習や臨床実習はどのくらい大変ですか？

2・3年次を中心に学内での実習や附属病院における臨床実習があります。これらの学年では毎週3～5日は午後がすべて学内実習に当てられるといった具合で充実したカリキュラムになっています。専門基礎科目・専門科目について実習を含めて履修した後に、附属病院での臨床実習が行われます。4年次には専門科目の中でも科目を選択して履修ことができ、卒業研究を通じて学生個々の興味や志向に応じた専門性を追求することができます。



病理実習風景

Q4 看護・医療科学類の看護学主専攻の学生や医学類の学生と共通で履修する科目はどのくらいあるのですか？

看護学主専攻の学生とは1年次の共通科目、基礎科目を中心に共通して履修する科目が多くあります。共通科目は筑波大学の他学類の学生とも共通履修します。比較的早い段階で開始される専門基礎科目や専門科目は医療科学主専攻のみを対象に開講されますが、3年次以降に開設される学群共通科目は看護学主専攻や医学類の学生とも共に履修します。



医学類

入学試験案内



下記は平成15年度入学試験案内です。

詳細は、必ず「入学者選抜に関する要項」(7月公表)及び「学生募集要項」(9月公表予定)を参照してください。

平成15年度入学試験の概要(予定)

		看護学主専攻	医療科学主専攻
1 推薦入学	試験時期 試験科目 募集人員	11月27日、28日 小論文、面接 25名	11月27日、28日 小論文、面接 10名
2 前期日程	試験時期 試験科目 募集人員	大学入試センター試験 1月18日、19日 個別学力検査 2月25日、26日 大学入試センター試験 国語、社会、数学、理科、外国語 個別学力検査 国語、理科、外国語、個別面接 35名	大学入試センター試験 1月18日、19日 個別学力検査 2月25日、26日 大学入試センター試験 国語、社会、数学、理科、外国語 個別学力検査 数学、理科、外国語、個別面接 19名
3 後期日程	試験時期 試験科目 募集人員	大学入試センター試験 1月18日、19日 個別学力検査 3月12日 大学入試センター試験 国語、社会、数学、理科、外国語 個別学力検査 小論文、個別面接 10名	大学入試センター試験 1月18日、19日 個別学力検査 3月12日 大学入試センター試験 国語、社会、数学、理科、外国語 個別学力検査 小論文、個別面接 8名
4 3年次編入学	募集人員	(10名) 平成17年4月入学生から募集を開始します	(3名) 平成17年4月入学生から募集を開始します

推薦入学で不合格になった場合でも、あらためて一般入学試験を受験することができます。

問い合わせ先

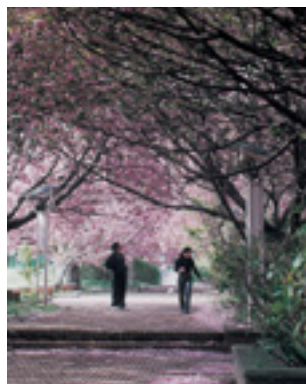
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学

学務部学務第二課入学試験第一係 TEL.0298-53-6007

または、医学事務区学務担当 TEL.0298-53-3018・3019

<http://www.snmt.tsukuba.ac.jp/>

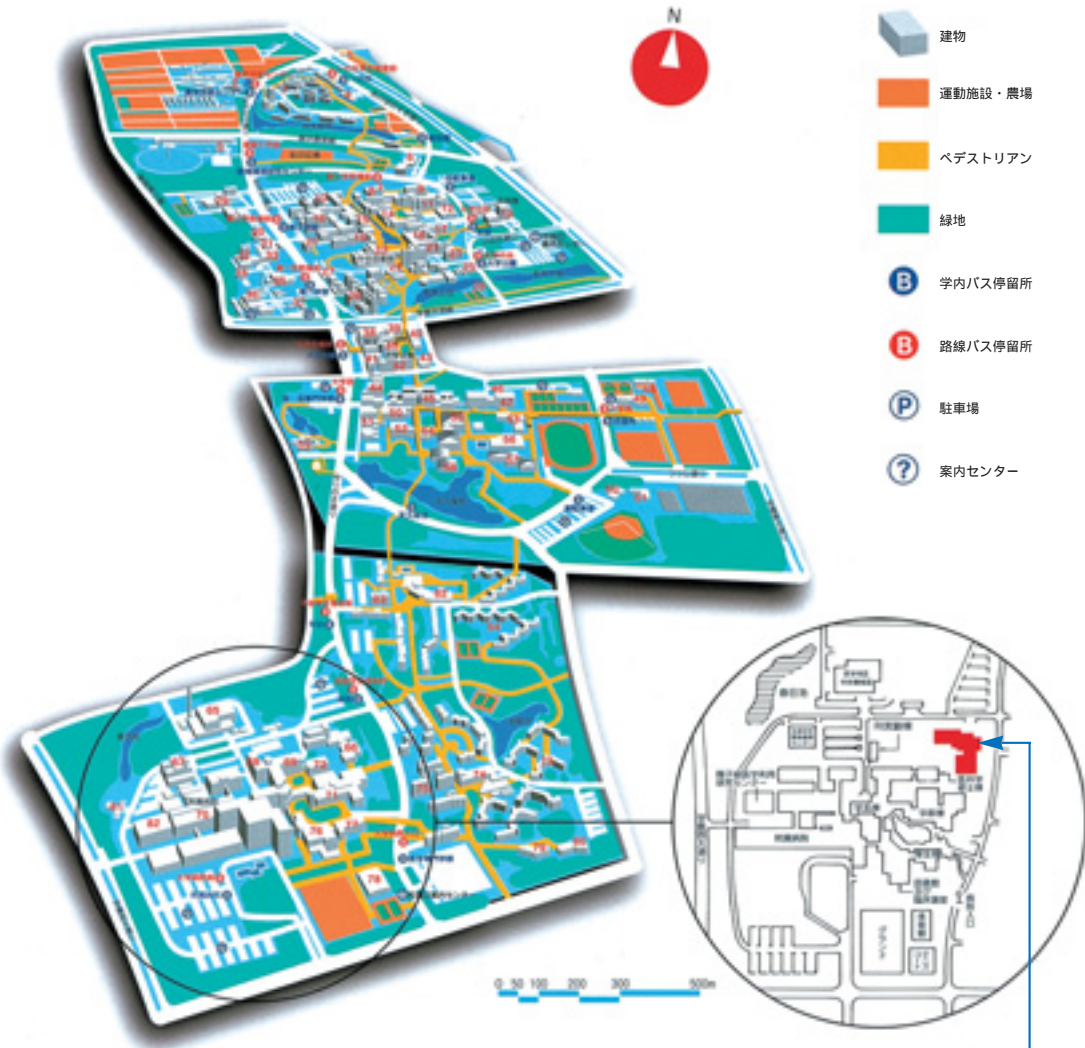


構内(桜並木)



構内(つつじ通り)

キャンパス マップ



北地区

- 1 蔵舎
- 2 農林技術センター
- 3 一の矢学生宿舎
- 4 一の矢生活センター

中地区

- 5 陸域環境研究センター
- 6 先端学際領域研究センター
- 7 遺伝子実験センター
- 8 生物農林RI研究施設
- 9 バイオシステム研究科
- 10 第二体育館
- 11 生物・農林学系
- 12 第一体育館
- 13 本部課
- 14 第二学群
- 15 第三学群
- 16 工学系学系
- 17 文化系修士
- 18 人間系学系
- 19 理科学系修士
- 20 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- 21 人文・社会学系

南地区

- 22 中央図書館
- 23 共同研究棟A
- 24 第一学群
- 25 文化系サークル会館
- 26 自然系学系
- 27 計算物理学研究センター
- 28 中央区実験廃水処理施設
- 29 プラズマ研究センター
- 30 工作センター
- 31 低温センター
- 32 加速器センター
- 33 共同研究棟C
- 34 分析センター
- 35 アイソトープセンター
- 36 中央機械室・施設部
- 37 実験環境管理室・実験廃液処理施設等
- 38 講堂
- 39 留学生センター
- 40 大学会館
- 41 学術情報処理センター
- 42 外国語・教育機器センター
- 43 保健管理センター

西地区

- 44 芸術学系
- 45 体育・芸術専門学群
- 46 共同研究棟B
- 47 体育科学系
- 48 弓道場
- 49 体育合宿所
- 50 芸術専門学群
- 51 工房（芸術学系）
- 52 体育・芸術図書館
- 53 体育センター・体育系サークル館等
- 54 体芸福利厚生施設
- 55 総合体育館
- 56 屋内プール
- 57 武道館
- 58 球技体育館
- 59 開学記念館
- 60 クラブハウス
- 61 課外活動練習施設

66 医学専門学群

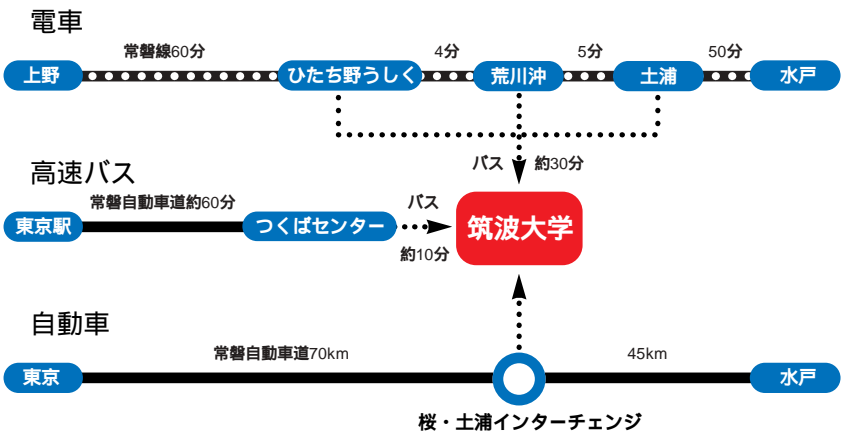
看護・医療科学類

（医療技術短期大学部）

- 67 生命科学動物資源センター
- 68 医学系RI研究施設
- 69 医学系学系
- 70 附属病院
- 71 医学専門学群医学類
- 72 医科学修士
- 73 追越学生宿舎
- 74 追越生活センター
- 75 看護婦宿舎
- 76 医学図書館・臨床講堂
- 77 医学福利厚生施設
- 78 第二体育館
- 79 客員研究員等宿泊施設
- 80 外国人教師等宿泊施設
- 81 西地区実験廃水処理施設
- 82 陽子線医学利用研究センター



筑波大学までの交通案内



常磐高速バス利用

東京駅八重洲南口からつくばセンター行き的高速バスで約60分、つくばセンターで筑波大学中央行き乗りかえ約10分（追越学生宿舍前で下車）

JR常磐線利用

上野から約60分、ひたち野うしく、荒川沖または土浦で下車、各駅から筑波大学中央行きバスで約30分（追越学生宿舍前で下車）

筑波大学 医学専門学群 看護・医療科学類案内
 編集・発行：筑波大学 医学専門学群 看護・医療科学類案内編成委員会
 編集委員：長島泰夫、二宮治彦、樋之津淳子、辻正司、石濱均

〒305 - 8575 茨城県つくば市天王台1 - 1 - 1
 TEL 0298-53-3018・3019
 FAX 0298-53-3021
<http://www.snmt.tsukuba.ac.jp/>

2002年（平成14年）7月発行